



物理ロケーションの設定

物理ロケーションは、デバイス モビリティ機能をサポートしています。物理ロケーションは、特定の地域ロケーションに関連するパラメータと他のパラメータを区別する手段を提供します。たとえば、メディア リソース サーバで企業内の特定のオフィスまたはキャンパスを取り扱うことができます。デバイスが別のオフィスまたはキャンパスをローミングして Cisco CallManager に再登録される際には、ローミング ロケーションのメディア リソース サーバがデバイスを取り扱うようにしてください。メディア サービスの可用性に応じて物理ロケーションを定義すると、デバイスを物理ロケーション間で移動させるときも、効率的で経済的なサービスの再配置を確実に行うことができます。ネットワーク構造とサービスの割り当てに従い、都市、企業のキャンパス、または建物に基づいて物理ロケーションを定義できます。

物理ロケーションを設定するには、次のトピックを参照してください。

- [物理ロケーションの検索 \(P.12-2\)](#)
- [物理ロケーションの追加 \(P.12-3\)](#)
- [物理ロケーションの更新 \(P.12-4\)](#)
- [物理ロケーションのコピー \(P.12-5\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.12-6\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.12-7\)](#)

デバイス モビリティ機能の詳細については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco CallManager デバイス モビリティ」を参照してください。

物理ロケーションの検索

ネットワーク内にはいくつかの物理ロケーションが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の条件を指定して、特定の物理ロケーションを見つけることができます。物理ロケーションを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、物理ロケーションの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻る場合、検索を変更するかブラウザを閉じるまで、Cisco CallManager Administration により物理ロケーションの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 **Device > Device Settings > Physical Location** の順に選択します。

Find and List Physical Locations ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 物理ロケーションの検索条件を選択して、**Find** をクリックします。使用可能な物理ロケーションをすべて一覧表示するには、検索条件を空白のままにして、**Find** をクリックします。

関連項目

- [物理ロケーションの追加 \(P.12-3\)](#)
- [物理ロケーションの更新 \(P.12-4\)](#)
- [物理ロケーションのコピー \(P.12-5\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.12-6\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.12-7\)](#)

物理ロケーションの追加

デバイス プールの物理ロケーションを追加する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** 物理ロケーションを選択するか、**Add a New Physical Location** リンクをクリックします。
- ステップ 2** 適切な設定値を設定します (表 12-1 を参照)。
- ステップ 3** 新規物理ロケーションを追加するには、**Insert** をクリックします。既存の物理ロケーションの設定を更新するには、**Update** をクリックします。
-

関連項目

- [物理ロケーションの検索 \(P.12-2\)](#)
- [物理ロケーションの更新 \(P.12-4\)](#)
- [物理ロケーションのコピー \(P.12-5\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.12-6\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.12-7\)](#)

物理ロケーションの更新

既存の物理ロケーションを更新する手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** コピーする物理ロケーションを見つけるには、[P.12-2](#) の「[物理ロケーションの検索](#)」の手順に従います。
- ステップ 2** 物理ロケーション設定値を更新します ([表 12-1](#) を参照)。
- ステップ 3** **Update** をクリックします。
-

関連項目

- [物理ロケーションの検索 \(P.12-2\)](#)
- [物理ロケーションの追加 \(P.12-3\)](#)
- [物理ロケーションのコピー \(P.12-5\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.12-6\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.12-7\)](#)

物理ロケーションのコピー

既存の物理ロケーションをコピーする手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** P.12-2 の「物理ロケーションの検索」の手順に従って、コピーする物理ロケーションを見つけます。
 - ステップ 2** コピーするプロファイルの横にあるコピー アイコンをクリックします。
 - ステップ 3** 物理ロケーション設定値を更新します (表 12-1 を参照)。
 - ステップ 4** **Insert** をクリックします。
-

関連項目

- [物理ロケーションの検索 \(P.12-2\)](#)
- [物理ロケーションの追加 \(P.12-3\)](#)
- [物理ロケーションの更新 \(P.12-4\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.12-6\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.12-7\)](#)

物理ロケーションの削除

物理ロケーションが現在デバイス プールで使用中の場合は、削除できません。物理ロケーションを削除する場合は、まず **Dependency Records** から関連デバイス プールを検索して、その関連を解除してから、物理ロケーションを削除できます。

物理ロケーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [P.12-2 の「物理ロケーションの検索」](#) の手順に従って、削除する物理ロケーションを見つけます。
 - ステップ 2** 削除する物理ロケーションの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ内のすべての物理ロケーションを選択するには、**Matching Records** タイトルバーのチェックボックスをオンにします。
 - ステップ 3** **Delete Selected** をクリックします。
 - ステップ 4** **OK** をクリックして、選択を確認します。
-

関連項目

- [物理ロケーションの検索 \(P.12-2\)](#)
- [物理ロケーションの追加 \(P.12-3\)](#)
- [物理ロケーションの更新 \(P.12-4\)](#)
- [物理ロケーションのコピー \(P.12-5\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.12-7\)](#)

物理ロケーションの設定値

表 12-1 では、物理ロケーションの設定値について説明します。

表 12-1 物理ロケーションの設定値

フィールド	説明
Physical Location Name	物理ロケーションを識別する名前を入力します。
Description	物理ロケーションを説明するテキストを入力します。この説明には、最長 50 文字の英数字を使用することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。

関連項目

- [物理ロケーションの検索 \(P.12-2\)](#)
- [物理ロケーションの追加 \(P.12-3\)](#)
- [物理ロケーションの更新 \(P.12-4\)](#)
- [物理ロケーションのコピー \(P.12-5\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.12-6\)](#)

■ 物理ロケーションの設定値